

クローズアップ NGO・NPO

中国国際民間組織合作促進会
副理事長兼秘書長 黄 浩明

民間交流の優位性を発揮し、国際協力を促進

中国国際民間組織合作促進会（以下、「民促会」という）は、全国的、非営利的、連合的、自主的に結成された独立社団法人です。1992年7月22日に、当時の対外貿易部（現商務部）の審査許可を得て設立。1993年に、国家民政部で正式に法人として登録されました。2012年12月末までに、民促会の国内会員団体数は110となっています。2007年に、国連経済社会理事会非政府機構特殊協議資格を取得し、2010年に民政部に全国先進社会団体として選出され、国家財政部と国家税務総局が定めた公益社会団体寄付減税資格を持っています。

現在までの20年間、民促会は、国内外の民間団体との交流協力、貧困救助、コミュニティー発展、能力開発、環境保護等の事業に取り組んできて、中国民間組織の社会に対する影響力を高めてきました。そして次の4つの経験を得ることができました。

■ 国際交流・協力のパイプを広げ、 ■ 貧困救助事業に積極的に参画

民促会はすでに世界176の海外民間団体や国際二国（多国）間機関と良好な協力関係を構築してきました。そのうちの19か国（地域）の92の海外民間団体と二国（多国）間機関から、民促会を通して、中国に5.74億元の資金を提供いただいたことに加えて、民促会は国内各方面から3.52億元の資金を集めました。公益慈善プロジェクトの範囲は全国31の省、自治区、直轄市にある112の貧困区（県）にわたり、特に230

の貧困救助プロジェクトの受益者は650万人にも達して、上記地域の経済発展と社会進歩に貢献しました。



貧困救助プロジェクト活動の様子

■ 民間組織のネットワーク構築を ■ 強化し、環境保護事業の宣伝と ■ 実施を推進

20年来、民促会は「グリーン交通」、「気候変動」、「能力開発」、「水未来論壇フォーラム」という4つの専門ネットワークを構築してきました。メンバーたちの努力と協力のおかげで、それぞれ分野の異なる民間団体が一つの大きな強い団体となり、一丸となって環境保護の実践と宣伝に積極的に取り組むことになりました。例として「グリーン交通」を挙げると、「グリーン交通」はネットワーク構築から専門基金の利用まで幅広く事務を実施し、北京五輪、上海万博、広州アジア大会、ユニバーシアード深圳大会、西安世界園芸博覧会などのイベントで、「グリーン交通」のキャンペーンを行ってきました。すでに北京、上海、天津、広州、西安等の都市でグリーン交通低炭素交

通カードを11.7万枚発行し、公共環境保護の教育および宣伝と実践を行うことにより、国内外に深く影響を与えました。

■ 民間組織の能力開発に力を入れ、 ■ 民間組織の健全な発展を推進

民促会は会員加入に関しては、団体の質、本会にご協力いただけるどうかを第一条件としてきました。2012年12月までに、民促会の会員団体数は110となっており、今年からは個人会員の加入も検討中です。会員の加入に力を入れるだけでなく、民間組織の育成と能力開発にも取り組んでいます。EED (Church Development Service : Evangelischer Entwicklungsdienst) の支援を得て実施した民間組織の能力開発プロジェクトは2002年10月から2012年7月までの10年間で、実施額は127万ユーロに達し、民促会も自己資金5.8万ユーロを拠出しました。プロジェクトの内容は社会イベント主催能力育成、民政幹部の海外研修、社会団体の地域発展セミナー、援助団体円卓会議、マスメディア技術育成等です。それから、社会団体と政府、マスメディア、援助団体との交流会、社会団体同士の交流会を126回主催し、国内の基幹民間組織に43回にわたって、合計138万元の資金援助を行いました。国内31の省、市、自治区の政府部門、マスメディア、援助団体、社会団体からの代表5,952人が、プロジェクトの活動に参加し、中国の民間組織が健全かつ秩序よく発展することに貢献しました。

■ 民間外交を幅広く展開し、 ■ 国の外交事業に貢献

民促会は2007年に、国連経済社会理事会非政府機構特殊協議資格を取得し、2011年に、持続可能な開発に関する世界首脳会議 (WSSD) の協議資格を取得。2011年、国連気候変動枠組条約事務局が許認可した観察員の資格を取得しました。過去の20年間に民促会は貧困救助、環境保護、気候変動、食の安全、農村発展、コミュニティ建設、公益団体の能力開発、平和と発展事

務等235の国際活動に参加し、358人の職員、顧問、理事、会員団体が上記の活動に参加しました。さまざまな国際交流活動を通じて、中国民間組織が国際社会における地位と影響力を高めたと同時に、民促会と会員団体が国際業務に参加する際の連絡調整と対外交流能力も高まりました。

現在までの20年間、民促会は民生部が授与する全国先進社会団体等8つの賞を獲得し、社会各界から支持され、認められてきましたが、実績を挙げてきたと同時に、厳しい挑戦に直面していることをはっきりと認識しないといけません。例えば、国際寄付が減少傾向にあり、プロジェクトの資金集めも不安定になっていることや、プロジェクト管理の細分化がまだ不足していること、職員の能力開発が弱いことなどの問題があります。

今後10年間、民促会理事会は構造改革を続け、経験と教訓を取りまとめ、業務における不足部分を反省し、実施可能な案を提出する一方、すでに取得した国連経済社会理事会非政府機構特殊協議資格、国家財政部と国家税務総局が定めた公益社会団体寄付減税資格を活用し、民促会の特徴とプラットフォームとしての役割を発揮し、政府組織、学術機構、国際二国 (多国) 間機関、国内外の民間団体および企業との交流協力を強化し、民促会の国際化、業務専門化、協力ネットワーク化、職員プロ化の戦略目標を推進し、中国の公益事業の発展、民間外交の促進と新たな協和社會の創出にさらなる貢献をしたいと考えています。



黄 浩明

執筆者略歴

中国国際民間組織合作促進会 副理事長兼秘書長、研究員。清華大学公共管理学院NGO研究所兼職研究員、北京航空航天大学公共管理学院、北京師範大学哲学と社会学学院兼職教授、その他、多数の団体の常務理事と理事を務めている。著作「非営利組織戦略管理」等、その他、多数の本の編集に参加。